

第2回建設ワークショップ

テーマ「交流センター全体を考えよう！」

平成21年9月11日(金)第2回建設ワークショップが「昼の部」22名、「夜の部」22名の皆さんにご参加をいただき開催されました。

第2回は、基本設計を担当するJR東日本建築設計事務所の方から設計を進めていく上でのコンセプトの説明があり、“人と人、または人と情報が交わる場”をつくりだすことを柱とした5つのコンセプトが提案されました。

5つのコンセプト

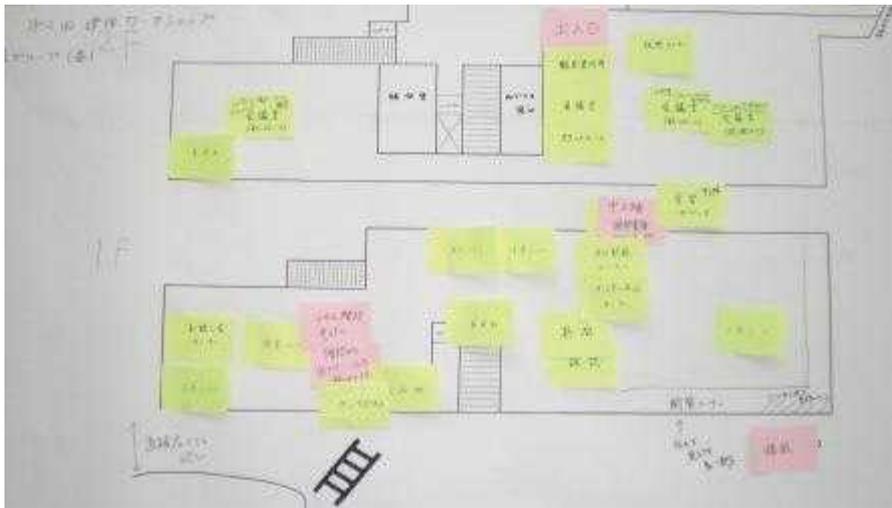
- ・まちの中心となるエントランス
- ・まちの“かお”となる立面
- ・まちをつなぐ動線
- ・情報が交わるゾーニング(注)
- ・視線が抜ける境界

(注)ゾーニングとは・・・?空間の中で位置関係を決める設計手法のことです。



図書館は1階、会議室は2階というふうに機能別に位置関係を決めていきました。

説明の中で施設全体をとらえられるようにと、JREの方が模型を用意してくれました。実際に模型をのぞいてみるとその大きさが実感できました。また、ホームや駅構内の階段などの位置関係もボンヤリしていたものがだんだんはっきりイメージとして頭に浮かんできました。



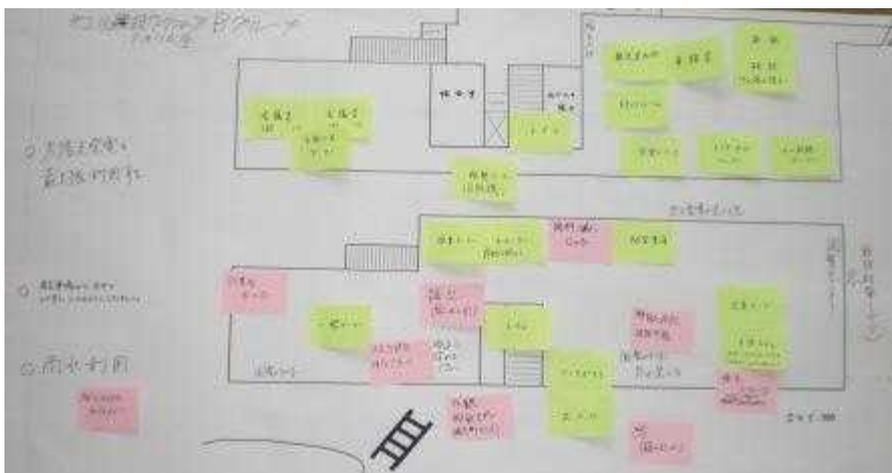
昼の部 Aグループ

参加者の声【今回のワークショップに参加してみて・・・】

設計業者からの説明を聞いて立体的に考えられた点良かったと思います。ワークショップに初めて参加しましたが、設計の段階から関わることがよかったです。

螺旋階段を作って中二階との行き来をスムーズにしてほしいです。

駐車場からの道路幅を広くしてほしいです。



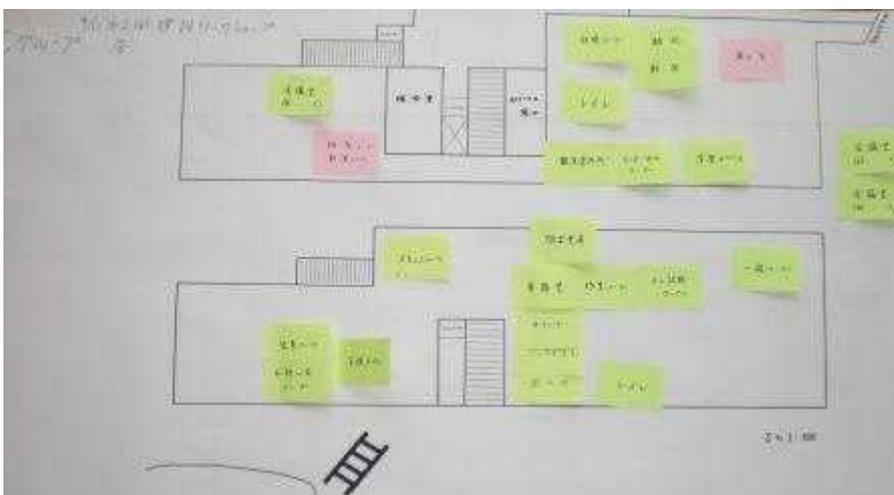
昼の部 Bグループ

参加者の声

【グループワークを終えて・・・】

当初児童室をホームに近いほうにスペースをとっていましたが、グループワークの中で、児童室から電車がちゃんと見えるほうにみんなの意見が変わったことが印象的でした。雑誌、新聞をその場で読めるスペースを2階にもとってほしいです。外が見える窓と閲覧カウンター

が必要だと思います。



昼の部 Cグループ

参加者の声

【交流センター内にはこんなコーナーも・・・】

物産コーナーを入れてほしいです。

東西自由通路からの人の流れに合わせ展示コーナーを設け小諸らしさをPRします。

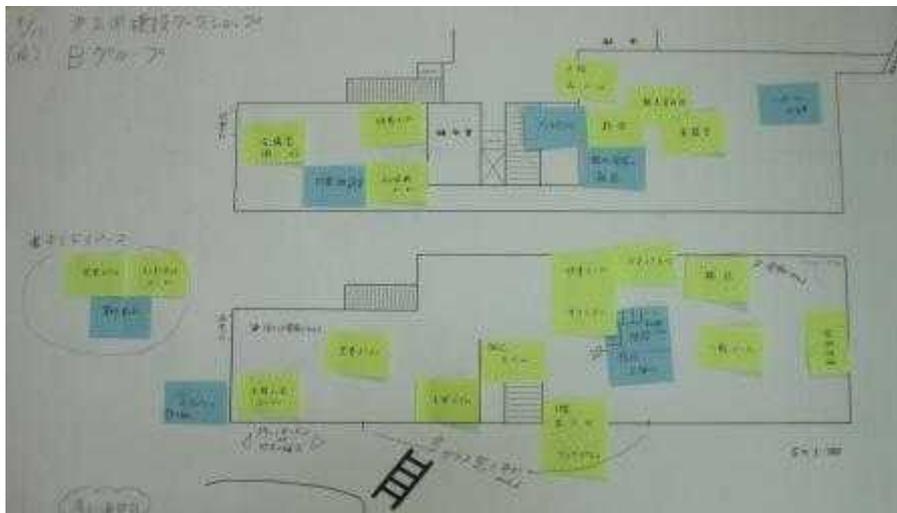


よい学習スペースを、二階に静かに学習する学習室を作りました。

夜の部 Aグループ

【こんな一場面も・・・】

水明小学校6年生でワークショップをクラスごとに開きました。その中の一人が今回の建設ワークショップに参加してくれ、クラスの意見として、癒しの場足湯や水槽を館内に入れることを提案してくれました。参加メンバーも小学生の柔軟な発想と建設ワークショップに参加してくれたことに高い関心を寄せていました。このグループは中二階には少し騒いでも

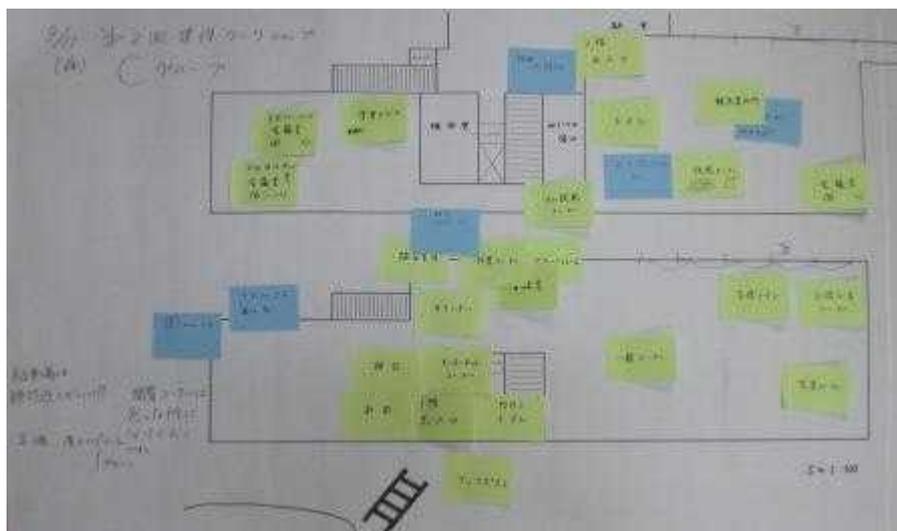


夜の部 Bグループ

参加者の声

【ゾーニングのポイント】

止まっている電車が見えるように児童コーナーが駐車場側に決めました。中二階に上っていく階段は子供が座れるようになっていて、さらに階段をあがると二階へと通じています。屋上にある展望台から景色を楽しめます。



夜の部 Cグループ

参加者の声

【ゾーニングのポイント】

児童コーナーは窓を大きく取れる停車場ガーデン側に電車が入ってくるところを見せ場にするを考えました。環境に配慮したソーラーパネルや植栽を屋上に設けました。ブックポストは2階入り口にも設置してほしいです。